

愛知県公立高等学校PTA連合会

高P連だより

vol.84
2014

◆事務局◆
 名古屋市中区新栄一丁目49番10号
 愛知県教育会館6階
 TEL: <052>261-5886
 FAX: <052>241-7048
 【印 刷】
 手島印刷株式会社
 TEL: <052>522-1635



PTAの皆様へ

愛知県知事

大村 秀章

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆様には、本県の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。

えていくうえで、大変意義深いことでありました。

そして、これからのESD推進の指針として発表された「グローバル・アクション・プログラム」には、優先的に

本県は、十一月に「ESD(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議」を成功裡に終えることができました。ESDは、環境、経済、社会、文化などから導き出される多様な価値観を認めつつ、社会を持続させるため

と、若者を持続可能な社会づくりをするための人材として育てることなどが示されており、今後、地域や学校での学習の充実と若者の育成が重要になってまいります。

自ら行動する力を身に付けることを目指しています。ものづくりで知られた本県で、二〇〇五年の愛・地球博、二〇一〇年の生物多

本県においても、生徒が持続可能な社会の担い手、明るい未来の創り手となるべく、家庭・地域・学校が連携した教育を推進してまいります。

〇一〇年の生物多様性条約締約国会議を経て、ESDの会議を開催できましたことは、経済や環境など多様な視点を踏まえつつ、総合的に地球や人類の未来を考



の目的にも、PTAの皆様には、県政への更なる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



切りひらく力

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 高橋 裕次

豊田西高等学校PTAの高橋と申します。皆様には日頃から高P連活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「道はいつもひらかれている」道は、すべての人の前にひらかれている。しかし、道がとぎざされている。その人にやる気があるかないかだけである。

さて、今の高校生の中には自分の価値観を見出せず、不安と迷いの中で、将来を切りひらいていく力が何であるか、わからない人も多いのではないだろうか。そのために必要なのは、社会との接点を早い段階でもつことだと思えます。

道は、すべての人の前にひらかれている。しかし、道がとぎざされている。自分だめだと思ふ人はだめになっっていく。道は、すべての人の前にひらかれている。しかし、生きがいと、しあわせとを、つかみあてるその鍵は、自分の心の姿勢のなかにだけしかない。

様々な職業や価値観をもつ社会人から話を聞くことで、自分の生き方について考えるきっかけや手掛かりを見つけることができると思えます。具体的には、就業体験を通して、社会で実際に求められていることを学び、自らの興味や関心をもとに何を学ばなければいけないのか考えることです。さらに、今学んでいることが社会とどのようにつながっているか知ることが大切だと思います。自らの人生を自らの力で切りひらいていくための心の在り方を述べた古谷綱武(ふるやつなたけ)の言葉を紹介いたします。

子どもたちは自分の心に敏感になることが大切だと思います。将来どんなことがしたいのか、大人社会の一員として生きていくわけですから自分の力で見つける必要があります。周囲に流されて何となく進路を決めてしまわないために、社会や大人との接点から学び成長することが。自分に合った進路を選ぶことができれば努力を惜しまず、困難なことがあっても切りひらいていくことができるのではないのでしょうか。

全国高等学校PTA連合会 福井大会に参加して



尾張地区
愛知県立丹羽高等学校
PTA会長
浅野 錠二

第64回全国PTA連合会大会福井大会が、「教育と考福」をテーマに越前市のサンドーム福井を主会場として開催されました。開会式後には、「今求められる考福脳」というテーマで茂木健一郎氏の基調講演があり、学びと幸せの脳科学についての話がありました。ユーモアたっぷりの一時間で、いかにして脳を若く保ち、どのようにして自分なりの考福を見つけ出すのかについて、脳科学者らしい視点の話が展開されました。

二日目の記念講演は、県立恐竜博物館特別館長の東洋一氏による「福井の恐竜」についての話でした。その内容は、福井で発掘されたフクイラプトルやフクイサウルス等の恐竜達は、アジアとヨーロッパを繋ぐ世界的な恐竜の歴史を証明するものであるとか、鳥類の起源はアジア地域である等等、とてもロマンにうち満ちた話でした。大会は、分科会やアトラクション等もあり、内容盛りだくさんの二日間でした。教育に対して家庭と学校、地域の連携を深めるための話をいろいろと聴くことができ大変参考になりました。

東海地区高等学校PTA連合会 愛知大会に参加して



知多地区
愛知県立東海商業高等学校
PTA副会長
内田 嘉広

六月二十日、東海地区高等学校PTA連合会愛知大会に参加致しました。開会式の後、日本レスリングナショナルコーチであり、吉田沙保里選手などオリンピックメダリストを輩出された栄和人さまの「挫折からの復活―三連覇への道」と題した講演があり、その後

愛知県立東海商業高等学校、三重県立松坂高等学校の取り組み事例をお伺いしました。講演では、吉田沙保里選手の連勝がストップしてしまった時に味わった挫折からの復活そしてオリンピック三連覇へのお話を伺いました。この日は本物の金メダルを持参して頂きました。実際に見てみますと、それは今までの苦難を乗り越えてきた証なのだ

と、痛感致しました。また、二校からは、先生方と研修先を訪問し子どもの様子や企業のお話を聞く「インターシップ先巡回指導」や大学の職員の方から大学の様子などの説明を聞き、子どもの進路について話をする研修旅行など、多種多様の報告がありました。高校生という子どもから大人に移り変わる大切な時期を、保護者が支える重要さを思い知らされる大会となりました。

知事への表敬訪問

平成26年7月11日(金)、26年度の愛知県公立高等学校PTA連合会の役員4名は、愛知県公館に大村秀章知事を訪ね、本県高等学校教育を中心に教育全般に亘って、意見交換を行いました。知事は三河地区の県立高校の出身者だけありまして、役員の説明を丁寧に聞きになり高校の現状を十分にご理解いただき、どんな点に課題があるのか、問題意識を持って意見交換をされておられました。

話題は、県立高校の施設設備が老朽化していることに及びました。具体的には多くの学校のトイレが和式で、今の生徒にとっては使いづらいこと、校舎内の廊下に段差が多くあり、危険であることなど施設設備の整備が遅れていることが話題になりました。知事さんとの懇談は、短時間であり、多くを語れたとは言いがたいのですが、愛知県高P連にとりまして、知事に直接保護者の思いを伝えることができ、大いに評価できるものであったと思います。そして、また、



本県のPTA活動の方向性を示唆するものであるとも言えます。以上のような話し合いが各所で持たれ、教育予算が編成されていきます。

ちなみに、高P連は、平成27年度に向けて、次の5項目を要望しています。

- 一 防災対策と学習環境の整備
- 二 新学習指導要領の円滑実施と健全育成
- 三 愛知県公立高等学校PTA指導者研修会の実施
- 四 家庭・地域・学校が協働するための施策
- 五 愛知県立高等学校長会の重点要望実現

この中でも特に、一の「学習環境の整備」に関しては、空調設備の設置と新学習指導要領が円滑に実施され児童生徒が健全に成長していくための施策を充実して下さるようお願いしております。

学 校 紹 介

愛知県立大府東高等学校PTA



大 東 祭 (体育祭)



浴衣を着た留学生とフェアウエルパーティー

本校は、昭和五十八年四月に地元の強い要望とご尽力により創立されて、三十二年目を迎える普通科高校です。「明朗で健康な人間」「明確な目的意識を持つ人間」「社会の発展に寄与できる人間」「国際的視野をもつ人間」の育成を教育目標に掲げ、小高い緑に囲まれた中で、日々の教育活動が行われています。オーストラリアビクトリア州のエルウッドカレッジ校と姉妹校提携を結び、毎年交換留学が行われており、来年度三十年という節目の年を迎えます。

生徒たちの一日は、朝の読書タイムから始まり、授業、部活動と進路実現に向けて、積極的に取り組んでいます。今年度の部活動

は、陸上部が東海大会出場、サッカー部とバスケットボール部が知多地区優勝を果たし、多くの部が県大会に駒を進めることができました。

さて、本校PTAの組織には、総務・文化・生徒指導・進路指導・環境整備・国際交流の六つの専門部会があり、それぞれ連携しながら活動しています。その内容は、会報「冬青」の編集発行、学校祭での催し物、校外巡視指導及び挨拶運動、校外研修、マリーゴールドなどの植栽(年二回)、交換留学生のための浴衣の着付けなどです。なお、本年度の学校祭では、ソーシアート・手作りピーズ体験とフェアトレードカフェを開催し、会員相互の交流を

深めることができました。今後、大府東高校の発展と生徒の健全な成長を願い、先生方と手を携えて活動していきたいと思っております。

11月、ESDユネスコ世界会議が本県で開催されました。昨年のESD子どもフォーラム以来、県立学校の生徒も日頃の活動を発表するなど、様々な形で活躍してきました。

ESDとは、私たちとその子孫がこの地球で生きていくことを困難にするような社会の諸問題を自らの問題としてとらえ、身近なところから、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことにより、持続可能な社会をつくり出すことを目指す学習や活動のことです。そこでは、様々な分野を持続可能な社会の構築という観点からつなげ、総合的に考えていくことが重要になります。日本ではユネスコスクールをはじめ、学校での取組が進められ、学習指導を進める中で社会の中にある多様性や相互性などに気づき、社会づくりに必要なコミュニケーション力や多面的・総合的に考える力、他者と協力する態度、進んで参加する態度などを育成しています。

しかし、ESDは学校だけで行うものではなく、家庭や地域で行うことも重要だと考えております。高校生が、学校外の生活の中で、自分とは異なるものをもっている人たち―異世代や異文化、



社会の中でのESD

愛知県教育委員会 生涯学習課

また異なる価値観をもっている人など―と交流することで、知らない世界を知り、視野を広げ、言語能力を育むことができます。

PTAの皆様は、学校・家庭・地域をつなぐ要として、高校生の成長に関わっておられます。今年度は、県連合会が校長会と連名で高校生のスマートフォン・携帯電話等の利用のガイドラインを作成し、全ての御家庭に向けて適正な利用に関する啓発活動への協力を依頼されました。それを受けて、全ての御家庭でスマートフォン・携帯電話等の使い方について話し合う際に、お子様が自ら課題に気づき、その解決方法を考えられるような話し合いをしていただければ、それがESDにつながるものと考えております。皆様も、御家庭や地域でどのように子どもたちと接するかを工夫していただくと、家庭や社会でのESDは推進できます。

生涯学習課では、社会全体の教育力の向上を目指しております。皆様におかれましても、家庭や地域で子どもたちを温かく育んでいただくことで、持続可能な社会の構築に向けて御支援していただきますようお願いいたします。

『こころの電話』

教育相談

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

☎ 052-261-9671

クローナイ

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。昨年度一年間で10、626件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。

相談時間は、午前10時から午後10時までです。(ただし、年末年始は除きます。)

高校生からの相談内容

平成25年度に寄せられた高校生からの相談は826件で、全体の約7.7%でした。

最も多い相談は「家族関係に関する相談」で2006件あり、高校生からの相談の約25%を占めます。やはり、家族との意見の相違が生じる時期だからだと思われます。二番目に多い相談内容は、「健康・不安」「男女交際」で共に121件約15%となっています。

相談件数の多い内容は、平成24年度は、性に関する相談でしたが、平成25年度には家族に関する相談が1位となっています。

高校生の保護者からの相談内容

平成25年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は663件で、全体の約6.2%でした。

最も多い相談は子どもの性格や行動に関する相談で160件あり、高校生の保護者からの相談の約24%を占めます。

す。この性格・行動の相談には、不登校の問題も含まれています。保護者の方が一番困り悩んでいるので、相談件数も多いと思われる。二番目に多い相談は、学校生活で141件約21%、三番目が健康・不安で103件約16%となっています。

なお、平成24年度の相談件数が多い内容の順位は、一・二番目については平成25年度と同様ですが、三番目は家族関係となっています。

お知らせ

当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障害」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ面接相談事業を実施しています。

興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

あいち教育スポーツ

検索

事務局だより

愛知県教育公務員弘済会奨励金

7月23日(水)、高P連理事会の席で旭丘高校、小牧工業高校、東海商業高校、猿投農林高校、田口高校の各PTAにそれぞれ10万円が、PTA活動を助成するため贈呈されました。

平成26年度東海大会報告

6月20日(金)に名古屋市公会堂において、東海四県から1540名の参加で開催されました。

講演

「挫折からの復活〜三連覇への道〜」
栄 和人 氏

研究協議

「進路指導とPTA」

愛知県立東海商業高校PTA
「学校教育とPTA」
三重県立松阪高校PTA

○来年度の東海大会は岐阜県で開催されます。

期日…平成27年6月19日(金)
会場…長良川国際会議場



来年度の第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会について

平成27年8月20日(木)、21日(金)に開催されます。会場 岩手産業文化センター他(盛岡市他)。全国大会の参加申込みをWEBで行うようになって3年が経過しました。来年もうまくいくことを願っています。

ホームページをご覧ください



http://www.aichikoupren.org

愛知県高P連

検索

編集後記

○岩手、花巻は宮澤賢治の世界。昨年は、賢治没後80年。花巻の地は、宮澤作品のモデルとなったスポットがたくさんあります。研修の合間に是非覗いてみたいものです。